

# 大学院特別講義のご案内

◆日時：平成31年3月6日（水） 16時30分～18時00分

◆場所：歯学部記念会館

◆講師：佐野 英彦 教授

北海道大学大学院歯学研究院  
歯科保存学教室



◆演題：マイクロテンサイルテストとナノリーケージ

◆要旨：

1970年代に日本から始まった接着の臨床応用は、total etchingという形で花が開いた。しかし80年代、欧米では象牙質エッチングはほぼ禁忌であり、primerやmoist bondingの出現を待つ必要があった。90年代以降、日本での臨床エビデンスや欧米での追認等により、接着材はetch & rinseとself-etchingという二つの流れに収斂している。接着材の評価に際して、その強さと封鎖性を知ることは重要である。マイクロテンサイルテストとナノリーケージの概念は接着を知る上で、あるいは新たな接着材を開発する上で、今でも重要なツールである。（英語による講義を予定しております）

◆問い合わせ先：歯科理工学教室（今里・内線2916）